

東野恭行議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。〔10番 東野恭行君登壇〕

○10番（東野恭行君）

おはようございます。みらい創造クラブの東野恭行でございます。

発言通告書ののっとり、1回目の質問をさせていただきます。

1、駅北復興まちづくりと立地適正化計画について。

平成28年12月22日に発生した糸魚川市駅北大火から5年が経過しようとしています。糸魚川市駅北復興まちづくり計画も「復興展開期」を迎え、これからも計画を基に、市民、事業者、関係団体の活躍が期待される場所でもあります。糸魚川市駅北復興まちづくり計画や立地適正化計画が、地域住民の皆様の要望や希望とかがみ合っているのかどうか。時にかみ合わない状況が見られても、誰かの責任にするのではなく、それぞれが活動の主体となり、それぞれの責任を果たしていく。10年後、20年後の糸魚川の社会を俯瞰的に見ながら、市民の皆様とともに計画が進むことを切望します。

- (1) キターレにおける駅北復興まちづくりの行政視察の受入れ体制と、今後の予定について伺います。
- (2) 駅北においても、地域の団体が主体となり、日々ご活躍されているが、今後の行政の支援策について伺います。
- (3) 「駅北まちづくり活動動画」の作成による効果と今後の活用について伺います。
- (4) 駅周辺のスーパーマーケットが撤退後、周辺の地域より行政に対し、スーパーマーケットの設置について要望があったが、その後の対応について伺います。
- (5) 駅周辺に、サテライトオフィスの設置がもたらす効果の予測と、今後の予定について伺います。
- (6) 糸魚川創成塾2021基礎講座が無事終了しましたが、塾生による現在までの駅周辺での創業の実績について伺います。
- (7) 若者の居住誘導について、現段階の具体的な施策について伺います。
- (8) 子育てに関する施設、保健センターなど、都市機能の駅北周辺への誘導は、計画として進んでいるのか伺います。
- (9) 本町通りの雁木整備については、再建の補助制度が本年度をもって一旦締め切られる予定ですが、現在の進捗状況と今後の展望について伺います。
- (10) 駅北地区に限らず「空き家・空き店舗」の活用について、継続して取り組んでいただいていますか、取組の内容について伺います。
- (11) 駅北地区「駅前海望公園」の利活用について、今後の展望を伺います。
- (12) 今後4年間で、糸魚川市駅北復興まちづくり計画と立地適正化計画は、どの程度の進捗を目安としているのか伺います。

以上で、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

おはようございます。

東野議員のご質問にお答えいたします。

1点目につきましては、キターレ管理者及び市職員による対応のほか、自治会長や被災者からも説明に対応いただいております。今後も引き続き視察の受入れを継続するとともに、大火の記憶を伝承するため、防災学習も推進してまいります。

2点目につきましては、引き続き集落支援員を配置するとともに、まちづくり実践者と連携して、より活動しやすい環境を整えるよう支援してまいります。

3点目につきましては、活動の様子を分かりやすく市民の皆様に伝えることを目的に作成したもので、現在ホームページ等で紹介しております。今後も様々な機会を通じて、広く紹介してまいります。

4点目につきましては、近隣のスーパーマーケットや移動販売等をご利用いただきたいと考えております。

5点目につきましては、駅利用者の利便性向上と中心市街地のにぎわいの創出につなげるため、現在、施設整備、運営事業者を公募いたしております。

6点目につきましては、平成30年度以降の3年間で9の方が駅周辺で創業いたしております。

7点目につきましては、駅北復興住宅への若者・子育て世帯優先入居と空き家改修事業補助金を加算する施策を進めております。

8点目につきましては、トワイライトエクスプレス再現車両を整備し、現在、子育て支援を核とした施設の整備をまちづくり団体、子育て世帯などの多くの皆様と意見交換をし、検討を進めております。

9点目につきましては、今年度末で約6割の再建を見込んでおり、引き続き支援してまいりたいことから、補助制度については延長を検討いたしております。

10点目につきましては、空き家バンク支援や利活用による流通促進、UIターン者向けに空き家の取得及び改修への支援などを行っております。

11点目につきましては、海望公園は糸魚川駅から近く、海が見える展望台や市民公園の利用も含め、利活用に努めてまいります。

12点目につきましては、まちづくり活動と子育て支援を核とした施設の整備によって、若者・子育て世代が快適に暮らせる中心市街地づくりに向けて取り組んでまいります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますのでよろしくお願いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

それでは、2回目の質問をさせていただきたいと思っております。（1）番から順を追って質問します。

現在までに数々の視察と依頼があったと思うんですが、（１）番の再質問です。どのような目的で、他地域から視察に来られることが多いのか伺いたいと思います。観光とは目線は違いますが、視察の売りになる部分のポイントを教えてくださいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

おはようございます。

お答えさせていただきます。

以前は、発災当初の状況ですとか、復興計画の策定プロセス、また、大火からの復旧の現状、またはその手法ということ視察の目的とする団体が多い状況でしたが、特に今年度に入って以降は、復興まちづくりに関する視察の割合が増えてきたということで、今、状況を聞いております。

また、初めて訪れる方にとってのキターレというのは、中央に大火の記憶の伝承、北側に屋内・屋外広場、南側にキッチンという一見ばらばらなものが集まっているように見えると思うんですが、それは、「つくる・つかう・はぐくむ」というコンセプトに込められた思いというのをまず知っていただいて、紹介させていただいた上で町なかを歩いていただくことで、復旧のほうは一段落ついたんだけど、復興にぎわいづくりというのが今生まれつつある現状というのが、見ていただけるんじゃないかなと。

また、市長答弁にもございましたように、防災学習、行政視察とはちょっと若干違うんですが、学校、保育園の方からも多く訪れていただいておりますので、その辺りも今後の可能性としては大きいんじゃないかなというふうに私どもは考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

地域での受入れも、防災学習という観点で受入れも大事なことかと思うんですけども、コロナ禍ということもあり、今年度の行政視察の受入れ体制については、当初の予定より少ない実績であろうかと思っております。次年度、コロナが終息した前提になると思うんですけども、次年度以降の受入れ体制について、こんなことをやっていきたい、意気込みと視察メニュー等、何かお考えがあれば、お聞かせいただきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

今年度の視察は、やはりコロナの影響もございましてか8月までに6件ということで107名の方から来ていただいているのですが、ペースとしては、やはり落ちてしまっております。コロナの

終息というところもなかなか見通せませんが、今年も含めて次年度以降もキターレの管理者の方ですか、当然、市職員も毎回出向いておりますし、必要であれば、また自治会長さん、被災者の方からもご協力いただいて、視察に来られる方のご要望に即した受入れというものを目指していきたいと思っております。

また、先ほどと少し重なるんですが、園児・生徒の防災学習ということで使っていただいとるんですけど、一般の市民の方に対しては、逆に今、出前講座というのがあるんですが、現地に来ていただくような出前、来ていただく出前っておかしいんですけど、そういうやり方も企画してみたいなということは考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

齊藤産業部長。〔産業部長 齊藤喜代志君登壇〕

○産業部長（齊藤喜代志君）

若干補足して、お話しさせていただきたいと思っております。

今までの復興のまちづくりの中で、復興住宅や計画、それからまちづくりの部門ということで、いろんな賞を頂いております。復興住宅ではウッドデザイン賞など、それから復興計画においては、復興デザイン会議における復興政策賞、それからまちづくり活動に焦点を当てた都市景観大賞での都市空間部門の特別賞といったものを頂いております。

いろんな活動も評価していただいた上で、そういった賞を頂いているという部分もありますので、そういったところからの視察誘導というの、今後は考えられるのではないかなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

自治体によっては、視察していただく条件に、地域での飲食や宿泊をセットで自治体をお願いしてる自治体もあるんですけども、糸魚川市については、そのような民間企業や観光協会との連携についてお考えか。平成29年の観光協会だったと思うんですけど、そちらの提言の中にもそういった視察メニューを考えてほしいという要望があったと思っております。それも踏まえて、今後予定があるか、お伺いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

これまでも視察相手側のほうからお問合せがあれば、お好みですか人数などをお聞きしまして、飲食店のご紹介というものはさせていただいてはありましたが、ご提言のことにつきましては、今までやってなかったというのが実情でございます。

ただ、復興まちづくりの関係の視察については、駅北地区ということもございますので、そういう条件を付すことにつきまして、私ども含めているんな課が視察の受入れというのをしておりますので、またそれらと、あと商工観光部門のほうと、そのあたりは行けるかどうか検討させていただきたいと思います。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

そういった経済の流れってすごく大事だと思うんですね。そういったところでやっぱり官と民の連携を取りながら、今まで復興のために作り上げてきたものを大切にきていただいた観光客、そして視察していただく人たちに、ちゃんとこちらから提案申し上げるという作業、本当に大事だと思います。それが、また経済の流れを生み出すと思いますし、そういった取組、コロナ終息を目指して積極的に対応していただきたいと思います。ちょっと重ねてのお願いになりますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

指摘の点、ごもっともだと思います。また、観光協会を含めまして、視察の受入れがワンパッケージ等で対応できるように検討してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

ぜひよろしくをお願いします。キターレにおいては、展示スペースとフリースペース以外にも、インキュベート施設としてキッチンスペースの視察が大いな売りになるとも考えております。創業につながった実績もございますし、共場コモンズなどの事例も合わせながら、視察のメニューを企業との連携で考えていただければというふうに思います。

それでは、（2）番の質問に移ります。

地域の団体が主体となり、日々活躍されているがという部分の2回目の質問でございます。

民間主導、行政並走のまちづくりの考え方を、いま一度教えていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

昔ながらといいますか、以前は行政のほう計画を持ちかけて、または金銭的に支援をさせてい

ただ民間にお願いするのですとか、住民から頂いた声を受けて、後はもう行政が全部計画事業化をしてしまうといった進め方が多く、それが地元の方にしてみると、もしかしたらやらされた感というのが残るとるかもしれないですし、逆に要望・要求したら、後は行政にお任せというような状況も、もしかしたらあったのかもしれないです。

今までのそういう手法でもうまくいっていた面というのは、私はあるんじゃないかなと思っと思うんですが、まちづくりということに関しましては、少しやはりこのような手法というのがあまり通じないということは、行政も市民・町なかの皆様も感じているところじゃないかなというふうには思っております。主役であります市民の皆さんが、自分たちのまちを自分たちでつくることを、自分たちで行うということの基本にしまして、行政は、その人たちの動き、活動がしやすいような環境を整えることと、常に関係者に、市長の言葉を借りれば関係者に寄り添う。時には、逆にリードする。場合によっては引っ張られるというときもあるかもしれないですが、皆様と気持ちを合わせまして、進めていくというのが民間主導、行政並走という考え方でございます。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

気持ちを合わせていくという大事なフレーズを頂いたと思っております。

コロナ禍においても感染拡大を防ぐために工夫を凝らし、昨年、一昨年同様、今まで続けてきたイベントを絶やしてしまわないように、手を替え品を替え、思いをつなぎ、時の事業を創出している活動団体に敬意を表したいと思います。

市職員の皆様におかれましては、十分な感染予防を前提に、このようなイベントの参加協力はしていただいていますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

おはようございます。

職員に対しましては、地域の行事やイベントについて積極的に参加するよう周知しております。今後も地域の行事・イベント等には、積極的に参加するよう、引き続き、周知してまいりたいというふうに考えておるところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

割とこれ、重ねて当たり前に何回も聞いていることなんですけども、本当に市職員の皆さんにおかれましては、地域の行事に積極的に、もう真ん中に入って協力いただいている背景ももちろん知ってるんですけども、今やっぱり状況がすごく特殊でございます。コロナ禍という状況でありますの

で、なかなか無理も言えない部分もあるんですが、コロナ禍により、進んでイベントや市民団体が催す行事に参加していただくことは、なかなか難しいと考えるんですが、節度ある、ルールを守って参加していただくことは、市民にとってもそれだけで好印象であると考えています。補助金だけが支援策でないとは思っています。その場に、米田市長が足を運んでくれた。市役所の〇〇課長さん、部長さんが来てくれた。とても大事なことであると思っています。現在、時短営業の状況にある飲食店の利用についても共通して言えることではありますが、節度のある利用や参加の仕方であれば、決して非難は受けないと考えますが、米田市長、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

非常に大切なことだと思っております。

しかし、新型コロナウイルス感染症というのは、非常に分かりにくい、また、感染しやすいものであるわけございまして、非常に我々もやはり気を遣うところございまして。特に我々の受け持っておる業務におきましては、市民生活に大きく影響が及ぼすところございまして、その辺の行動制限というのは非常に、やはり議員ご指摘のようなことは、やっぱりどうしてもやっていかなくてはいけないというのは基本的に思っておるんですが、やはりその辺の考えというのはどうしても離れないところがあるかと思つるわけございまして、それは良識の判断の中でやらせていただいておりますが、どうしてもやはりブレーキのほうが強いのかなとは思っております。感染予防はしっかりしながら対応しなくてはいけないとは思っておりますが、そのような理由でなかなか市民に見えないところもあるのかもしれない。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

コロナ禍においては、通告書に書いてないので、これで終わりにしますが、やはり代行業の方にいろいろ情報を聞きますと、やはり市職員さん、建設業の方、出てきていただけないとやっぱり活性はしないよねというお話もいただいております。そういったところで、いつから出てきますという約束もなかなかできないんですけども、やっぱり気持ち的にそういう支えが欲しいという、お店さんの声もいただいておりますので、終息が見えたら、お力添えいただきたいと思っております。よろしくお願ひします。

続きまして、（3）番の駅北まちづくり活動動画による効果と今後の活用についてでございます。駅北まちづくり活動動画の再生目標回数があれば、伺いたいと思ひます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

再生の目標回数というものは、これまで定めてはおりませんでした。できるだけ多くの皆さんから視聴いただけるように取り組んでまいりたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

定めていないということは、庁内でもいろんな動画、作成されてると思うんですが、同様に定めていないものと理解しますが、それでよろしいですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

やはり動画を作った。税金をかけて、お金をかけて作ったということですので、その効果の1つの目安というのが、やはり動画であれば再生回数であるというのは、やはり分かりやすい指標だと思いますので、そういうところは本当は作る前から決めておかなきゃいけないことなんだろうなというふうには思います。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

動画のほうを拝見させていただきましたが、内容については細かく触れませんが、大変すばらしい内容と感じました。

せっかくこういった動画を作っても、再生回数が、いずれも150回程度、費用についても突っ込むこといたしません、これから様々な手段を使って、この動画を拡散し、活用していただきたい。その今後の活用方法を具体的にあれば、教えていただきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

お恥ずかしい話なんです、今回ご質問いただきまして、私もその動画というものを初めて見た状況でございました。映像と音楽と簡単なテロップだけで、それだけでも内容が分かるし、長さも飽きさせないちょうどいい長さということで、あといろんな姿がほほ笑ましくて、自分で言うのもあれですけど、よくできているんじゃないかなと思っております。



ただ、せっかくのそういうクオリティのものが、ご指摘のような状況、再生回数が寂しい状況というのは承知しております。自由通路のサイネージに出すですとか、イベントの開催時、様々な機会、媒体を通じて発信に努めるということも必要ですし、あとホームページのHOPEのところから、何回かクリックしていかないと動画のところには何か行けないという、そういうのも改善します。

また、今ほどのサイネージですとか紙媒体の復興に関するポスターのところに、二次元バーコードというんですかね、ああいうのを一緒に貼り合わせて、それ見た方が、簡単にその動画のほうに見にいけるような、そういう工夫というのにも必要なんだろうなというふうに思っています。いろいろご提言ありがとうございました。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

駅北まちづくり活動の動画に限らず、糸魚川市が予算を使って製作された動画について、せっかく予算をかけて作った動画なので、有効に発信していただきたいと思います。必要であれば、我々議員も発信のお手伝いさせていただきたいと思います。

今後、糸魚川市の情報は、LINEでの配信が中心になるかと思いますが、配信の中に動画チャンネルのカテゴリーを作るなど、有効に活用していただきたいと要望いたしますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

議員おっしゃるとおり、この10月から新たにLINEを用いた情報発信ということを計画しております。LINEを用いることによって、今ほどおっしゃったような動画等も今までの安心メールですとテキスト情報だけなのが、そういう動画情報もその中に配信できるという特徴等もありますので、どちらにしてもいろいろなメディアなり、そういうツールを使って広報等を充実するような活動を続けてまいりたいというふうに考えているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

日頃、やはりLINEのアプリというのは、頻度が高いツールだと思っておりますので、糸魚川市も公式のアカウントを取得してやるのであれば、動画の再生が、そこで再生回数が増えるようなしっかりと取組の対応をして、LINEを活用して、取組の訴えをしていただければというふうに思います。よろしく申し上げます。

続きまして、（4）番のスーパーの件でございます。移動スーパーによる食品販売は、地域の皆様に、駅北地域の皆様に喜ばれていると考えますが、利用状況が分かれば、分かる範囲で結構ですので多くの地域の皆様に喜ばれているかどうか、お聞かせいただきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

移動販売の令和２年度、昨年度の実績であります。稼働日数の多い事業者の例を申しますと１日当たり３０人程度で、売上げは６万５，０００円程度ということでお聞きしております。また、令和２年度は、延べで市内で２万６，４２０人の方がご利用いただいている状況でありまして、買物にお困りの方には大変喜ばれているというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○１０番（東野恭行君）

駅北地域におかれましても、独居で住まれてる高齢者の方いらっしゃいますので、積極的な対応をお願いしたいのと、もともとスーパーが存在した地域、中心市街地では、今後も潜在的にスーパー設置に対するニーズは、存在し続けると考えますが、事業者として事業採算を踏まえると、安易に設置しますということを行行政側が回答できないジレンマはあろうかと思えます。ですが、今後、駅北周辺で都市機能と呼べる公共の基盤が整い、それを地域が認め合い、人の交流が活発になるという仮説が実現できれば、長い時間軸で見ればスーパーの設置はかなうかもしれません。

現在、糸魚川商工会議所内でも、わいわいマーケットなどの取組をさせていただいておりますし、まずは地域が一緒になって、その取組を売り込める、認め合う、そんなコミュニティ形成が大切であると考えますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

おっしゃるとおり近隣の商店が廃業したり、商店がなくなったりということで買物に不便というふうに感じておられる方はいらっしゃると思っております。これはまた、市全体での課題であるというふうにも思っております。

現状では、議員おっしゃるように既存の商店を積極的に活用いただくとか、また、宅配サービスですとか移動販売、そのほか、それぞれの状況に応じたサービスを受けていただくということで、実施を選択していただければというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○１０番（東野恭行君）

先ほども申し上げましたが、金銭的な支援をお願いするというよりも、意識して使っていただきたいというお話でございました。

（５）番、サテライトオフィスについて、再質問させていただきます。

他市町村においても新型コロナ対応として、このサテライトオフィスの同様の取組があろうと思いますが、他市町村との差別化、糸魚川特有なもの、差別化をどのように図っているか、伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

サテライトオフィスにつきましては、今、駅周辺でワークスペースということで公募をいたしておるわけでありまして、糸魚川市周辺につきましては、新幹線をご利用いただける方ですとか、短期の滞在のビジネスマンとか観光客、また、美山での取組も含めたワーケーションでの滞在者、また、市内での高校生の利用というの也被考えられると思いますし、市内の企業における、そういうインターネットを活用した会合とかにも活用いただけるものと期待しております。駅周辺に施設ができることによりまして新しい目的地となって商店街に人の流れが生まれて、飲食ですとか、また宿泊を含めて、にぎわいづくりや消費が生まれて、新しいまた企業が出てくるということも考えられますので、それらも含めまして、より魅力的な施設から出ていただきたいなというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

少しサテライトオフィスについて勉強不足な部分もあるんですけども、この際、教えていただきたいんですが、サテライトオフィスは、従業員の働き方に重点を置いた職場であると考えますが、サテライトオフィスの設置により、糸魚川市においても新たな雇用は見込めるものと考えてよろしいですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

例えばの例であります、糸魚川市の出身者の方で商売されている方が、東京にいらっしゃる方でコロナ禍ということで糸魚川市にサテライトオフィスを出そうとした場合、そこで地元での雇用が見込めるというふうに思いますし、また、他の企業においても交通の利便性を生かして、糸魚川でサテライトオフィスを出した場合については、一定の雇用も想定されるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

なかなか言葉だけが独り歩きしてて、内容についてまだまだ熟知が足りなかったんで、あえて質

問させていただきました。雇用が見込める施設であるということですので、引き続き、対応よろしくお願ひしたいと思ひます。

(6) 番、創成塾の件でございます。コロナ禍においても駅周辺での創業実績が伸びた背景、教えてください。9名の創業が今までであったということですが、その創業が伸びた背景を教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

先ほど市長がお答えしましたとおり、糸魚川駅周辺の創業者数は、この3年、4年ですかね、で9人です。そのうち飲食関連の方が7人です。やはり飲食の事業を行うなら糸魚川駅周辺でというマーケットの価値ですとかイメージは、コロナ禍であっても変わらずにあるというふうを考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

コロナ禍の状況で新規創業された方々は、現段階、駅周辺での創業についてエリアの価値を感じているというコメントをいただきましたが、コロナ禍において事業者の困り事は、場所を問わずとも通していると考えますが、新規事業者、起業家から、心配事のこれら相談が寄せられているか伺います。事業継続について寄せられている心配事等があれば、教えていただきたいと思ひます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

新規創業された皆様におかれましても、このコロナ禍において本来であれば必要のない設備への投資ですとか、来客数の売上の減少ですとか、事務の手續の煩雑さ、増加など、想定外の負担が増えてるというふうを考えております。そんな中ではありますけれども、創成塾の卒業生といいますか、OBを中心にファンミーティング等を行っておりまして、引き続きネットワーク、卒業生のネットワークとしての創業支援、フォローアップを行っている状況であります。そのような中からは、特に悲観的な意見は聞かれておりませんが、今後もそういう横のつながりを生かしまして、創成塾に参加している皆さんも、また増加していき、引き続き、この創業に対する取組も進めていきたいというふうを考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

先ほど申し上げましたとおり、駅周辺の創業となると飲食店が多いと思ひますが、このたびの新

渦県の新型コロナウイルス感染拡大防止協力金、その内容は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、営業時間の短縮要請を実施し、要請に協力いただいた事業者に対し、協力金を支給しますという内容の事業でございます。

協力金支給の事務は、各市町村で行うということですが、支給される事業者に対し、できるだけ月内の支給というのは可能でしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

今、営業時間短縮の要請が、9月3日から9月16日の24時までということになっております。その後、申請をいただきまして、支払い手続をするわけですが、なるべく早くお金を皆さんにお届けできるように事務等につきましても、速やかに対応してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

立地適正化計画では、都市機能誘導区域において20年間で70件の創業支援の交付件数を目指しておりますが、新規創業の目標数値以上に大切なことは、安心して事業継続ができる企業支援と、商売をやることに採算性が見込めるエリアを双方でつくっていくことであると考えます。コロナ禍にある現在の状況においては、全事業所にひとしく廃業しないための手だてが必要であると考えます。先の見えないコロナ禍の終息、長年商売を続けられる事業所以上に新規創業者の不安は大きいと考えます。最終的には、ご自身の責任で身の振り方を決めなければなりません。糸魚川で創業してよかったと思われる取組を強化するタイミングは、このコロナ禍である今だと考えております。

オンラインによる創成塾のミーティング等も開催していただいておりますが、話しにくい経営状況を受け入れる体制は整ってますでしょうか。経営が始まれば、相談窓口とは違うとお考えでしょうか。経営者は、そのような弱みを吐露するタイミングと場所がありません。官民連携でできる支え合いの取組は、これからどのようなことがあるとお考えか、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

おっしゃるような経営の問題等につきましては、なかなか市なりに相談しづらいという面はあるかと思えます。そのような中、糸魚川市では創業支援ネットワークというものを組織しまして、商工会議所、商工会、また、金融機関、日本政策金融公庫ですとか、あらゆる機関が事業継続等に向けて支援しておりますので、また、そういう事例がありましたら、ぜひご遠慮なくご相談いただければというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

頑張ってる人の応援・支援が行き届く中心市街地、新規創業された事業者の中でも、飛び抜けた才覚を発揮されているお店も見受けられます。立地適正化計画の中の創業支援の交付件数の目標数値は、言わば商業地を維持していくことに大切な目標設定であると考えますので、引き続き支援の継続をお願いしたいと思います。

引き続き、7番の質問に入ります。

若者の居住誘導について、具体的な施策はあるか、再質問させていただきます。

居住誘導施策の中の若者・子育て世代の住居、定住に対する支援について、民間住宅家賃への助成とありますが、現在の実施状況と成果をお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

お答えいたします。

私のほうでは、特にUIターンという視点に絞りまして、お答えさせていただきたいと思います。

令和2年度になりますが、この家賃補助については、全域で34件ございまして、そのうち居住誘導エリアについては20件、34件中の20件が、居住誘導エリアということになっております。やはりこのエリアについては、アパートですとか民間の賃貸住宅が多いというところがありまして、こういった成果につながっているというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

エリア内の誘導で20件という数値、大変すばらしい実績かなというふうに思います。

空き家・リフォーム取得に対する支援について、現在実施しているUIターン促進のための賃貸住宅家賃に対する補助について、若者・子育て世代の居住誘導を図るため、対象者、区域を考慮しながら既存制度の継続と充実を図りつつ、長期的な定住につながるよう制度の見直しを行いますとありますが、現在までの実績と見直しがあった内容について、伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

お答えいたします。

これまでの、現在までの実績と見直しというお尋ねでございますが、まず、誘導区域の中でも駅北大火がございました。特に復興エリアにおきまして、これも私が答えるとなるとUIターンという形になりますが、UIターンとなりますとどうしても若年層、20歳以上ですとか40歳未満と

か、こういった年齢制限を設けて取り組んでおります。

ただ、復興エリアにおいては、この年齢要件を緩和いたしまして拡充してまいりましたが、申し訳ありません、実績としては、今のところはつながっていないというのが現状でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

駅北地域については、年齢条件を緩和しましたが実績につながっていないという報告を受けました。今後、また新たな対策も講じられると思いますが、こういった視点、本当に居住誘導というとなかなか言葉もちょっと一刻なイメージもあるんですけども、こういった作戦といいたまいますか方法で居住を導くのか、イメージお聞かせいただければと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

やはり立地の条件ですとか、特にこれから今コロナ禍で、なかなか取組が進まないんですけども、市内・市外も含めた情報の発信の仕方、それからここへ来れば、こういった人がいたり、こういった歴史的な建物があるとか、そういった景観、そういったものを含めて情報の発信の在り方と、やっぱりもうちょっときめの細かい、ただホームページだけ出した。そうじゃなくて、もうローラー作戦的なところでの人のつながりを使ってでも誘導していく。まずはそういったところの情報の発信を含めて、進めていく必要があるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

取組の強化、よろしく願いいたします。

現在、糸魚川市において子育て世代が集中している地域の所在と、その地域に子育て世代が集中している理由、背景が分かれば教えていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

お答えします。

子育て世代という形で、子供の数というところに着目した視点で議員はお尋ねになってるのかなというふうに思っております。分析をしていきますと、やはり子供の数、特に15歳未満、年少人口というふうに申し上げます。でいきますと、やはり糸魚川地区、糸魚川地域の糸魚川地区というところが、数の上では多いというところになっております。その背景というところになりますが、いろんな要素はあると思うんですけども、大きくくりで言ってしまうと利便性というところで総

括させていただきたいというように思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

ざくっと糸魚川地域とお答えいただいたんですが、地域を教えていただければ、目安となる地域というか、その所在を教えていただければと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

お答えいたします。

やはり今、新興住宅といいますか住宅が多いところの糸魚川東小学校校区でいきますと、東寺町ですとか南押上、こういったところがございますし、かつては上刈ですとか横町の部分というところも子供の数が多いので、そういった子育て世帯が多いという状況になっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

場所については、確認できました。

これらを踏まえ、若者が居住場所を決める決め手は何であるとお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

お答えいたします。

いろんな要素があると思うんですが、まず1つは生活の面で、スーパーですとか金融機関が近くにあるとか、後は医療の関係が整っているとか、後はインフラ、公共施設であったり公共交通機関がある。

もう一つは、子育て世代で若者ということになりますと、教育の機関、保育園や小学校、中学、そういった教育機関が整っているというところが条件ではないのかなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

今、駅北のほうの居住誘導区域について質問させているんですけども、若者の居住誘導について、今糸魚川市がやるべきことは、民間のどのような協力があれば成し得られるとお考えか、お聞かせください。



〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

行政、民間の連携・協力というのは、必要になってくるというふうなことは間違いございません。安価で良質な住宅、もしくは宅地の供給ということは、やはり若者・子育て世代の居住を誘導する上では、重要な施策だというふうに捉えております。

また逆に、大規模に昔のように区画整理事業みたいのをやっけてしまいますと、その先の将来に、今度、世代の移り変わりで、また空き家街というものを形成することにつながってしまいますので、適切な場所に適切な民間開発をインセンティブを持って、彼らにしたいくなるようなそういう施策というのは市のほうで考えていかなきゃいけないかなと思っております。

また逆に、不適切な開発を抑制するようなことに対する啓発理解というのも市役所の役割かと思っております。

また、今度は土地だけではなくて、良質な空き家が多数ございます。その仲介ですとか、ちゃんともうかるビジネスとして成り立つ仕組み、口で言うと簡単なんです、そういうところの方向も探っていかなければならないと考えておりますし、今後、民間と市の協力がないと、逆になし得ないことのほうが、今後増えていくのではないかというふうに私は捉えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

立地適正化計画の中の平成27年度の居住誘導区域、ゼロから39歳の人口は4,207人であり、このまま何も施策を講じなければ、令和17年には3,164人に減少する見込みです。そのため立地適正化計画におけるまちづくりの方針に基づき、各種施策を推進することにより、ゼロから39歳の人口減少の抑制を図りながら、平成27年と同程度の人口推移を維持することを目指すこととし、目標値は、令和17年の居住誘導区域、ゼロから39歳、4,207人、つまり1,043人を増加するとあります。

人口減少が進む中、このような人口集積は、現実問題可能であるのでしょうか。平成27年からおよそ6年が経過した今、その目標に届く推移にあるのか、伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

やはり短期間で効き目が目に見えるというところは、立地適正化計画の指標からは、なかなか難しい、逆に立地適正化計画の特性かなというふうに思っておりますが、この取組、今はまだ立地適

正化計画自体はつくりましたけど、それを誘導する施策というのを今生み出しておるという作業を本当に続けておる状況でございます。こういうことをやはり継続していくということが、時間がかかるかもしれないですが、その実現に向かって進んでいくということになると私らは信じて、仕事をしております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

立地適正化計画、糸魚川市における立地適正化計画は、山間地の人を無理やり誘導するとかそういった強引な計画ではなく、若い子育て世代を誘引するような、そういった計画であるということと、市の効率化ばかりではなく、子育て・教育に力を入れたまちづくりを同時に進めている計画であると、このようにも理解しました。

糸魚川市で居住する決め手と価値観を高めていただき、若い子育て世代にしっかり訴求し続けていただきたいと考えますが、米田市長、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

やはり人口減少というのは、やはり非常にこの地域社会に及ぼす影響が大きいものがございます。そういう中で、やはり人口をどのようにとどめるか、増やしていくかというところの中においては、1つの施策だけではないわけでありまして、やはり市民生活、そして、また地域医療、そして教育、そういういろんなものは兼ね合って、うまくいくものだろうと思っておりますので、そういった全体を見ながら進めていかななくてはいけないなと思つとる次第であります。

また、そして我々の自然という、やはり生かしながら、交流人口の拡大にもしっかり取り組まなくてはいけないと思っております。どれを外しても駄目だと思っております。バランスよく、またレベルを上げていくことが大切と捉えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

米田市長を先頭に、力強く推進していただきたい、このように思います。

8番目になります。子育てに関する保健センターなどの都市機能の駅周辺への誘導、計画として進んでいるかという質問でございます。

都市機能誘導施策の中の誘導施設の複合化による新設が、結局は糸魚川市の公共施設の効率化・合理化につながるという十分な説明が、十分にされていないと箱物設置の反対世論が広がる一方であると考えます。公共の複合化にとどまらず、交流人口の増加のためにサウンディングによる民間

事業所との複合について、お考えはあるか伺いたいと思います。

また、そのような民間事業所によるお話、アプローチは今まであったかどうか、伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

子育て支援を核といたしました施設整備につきましては、冒頭、市長が答弁したとおりでございます。それで機能の複合化、多機能化ということでございますが、単なる行政機能だけを足し合わせても合同事務所的なものをつくるだけです。そこににぎわいというものを加えていくためには、民間の部分というのは当然必要かと思えます。当然、子育て支援機能の本質の部分については、こども課のほうも連携取りまして、皆様方と意見を聴きながら、基本計画の策定を進めているところでございます。

サウンディング等に関しましては、以前1回、過去に行ったことがあるんですが、そのときにはあまりいい方向性は出なかったんですが、現時点で今、明確にお話しできることはないのですが、先般、連携協定を締結いたしました、都市再生機構URと協定を締結いたしました。彼らの知識ですとか経験ですとかつながりといったところも、彼らから協力いただきながら、サウンディングというところにも協力を求めてまいりたいというふうに今は予定しております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

地域の声を聴き、それを実現させるためには、民間企業の協力が必須であると考えています。私は、都市政策課の復興推進係の役割が重要になると考えております。

これからの復興は、今までの駅北の基盤整備の価値を認め、良質な民間投資がどのようにかぶさってくるかが糸魚川の本場の復興となると、駅北復興に携わっていただいたまちづくり推進会議の清水義次座長が、糸魚川市駅北復興まちづくりだよりボリューム25にておっしゃっておりました。積極的な民間事業者の参入をイメージするとなると、人の交流が多いに見込めるような公共基盤、都市機能の整備と計画が必要になってくると考えますが、事業者の採算性を考慮したサウンディングの調査、これは可能かどうか伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

サウンディングというのは、まさに採算性、あと出店意向、そういうのがかみ合わさる。あと、

そこにやりたい人がおる。もう一個は逆に、そこで働いてくれる働き手があると、そういうところを調査するのがサウンディングでございますので、その辺に関しましてはこれからも、前回のときにはうまくいかなかったんですが、より子育て機能というような、具体的な一歩を踏み出した今状況でございますので、改めてサウンディングというものに取り組んでまいりたいというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

前回のサウンディングが不調に終わった背景というのは、やはり採算性が見込めなかったところだろうなというふうに考えておりますので、今後、また条件がいろいろ変わっていく中で、またURも入って、参画してやるということなんですけども、やっぱり三者が地域の方、業者、行政が一緒になった計画を練り上げていただきたいと思っております。

復興まちづくりにおいて、現段階、地域の要望は、20年後の糸魚川駅周辺の姿というよりも身近な生活環境の維持であると感じています。であるならば、現段階から20年後の身近な生活環境の維持を踏まえた計画を市役所、地域、事業者の3者で進められたらというふうに考えております。大きな駐車スペースも計画をつくっていく上で鍵となると考えています。無駄な箱物設置と言われないような計画の推進をお願いしたいと思っておりますが、米田市長、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

やはり今、行政の行ってる事業の中で、課題があるものについてそういった居住していく1つの事柄だろうと思っておりますし、それを今、駅北の中でどのように生かしていくか、そういうところがやはり大切だと思っております。その中で子育ての要望というのもいろいろあるわけでありまして、それを今回、併せて設置していきたいと思っております。決して、無駄な箱物というものは、私は造ってはいけないと思っておりますので、そうならないように今皆さんと協議をしてる段階であります。いかにそれを使っていただけか、また、生かしていけるかというところが大切だろうと思っております。そして、地域の皆様方と喜んでもらえるような施設に持っていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

続きまして、雁木整備についてでございます。

現在、糸魚川市が考える雁木整備による景観形成のポイントとなる場所、その場所はどこである

とお考えか。個人情報にも関わることなんで、そのポイントとなる場所の認識はできているのかどうか、伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

市長の答弁にもありましたように、今年度末で6割程度の整備が完了となる見込みであります。雁木につきましては、本町通り一帯を含めて、緩やかな調和を図り、昔の風情が感じられるようなことでというふうに取り組んできております。

ポイントとなる箇所につきましては、幾つかあるかと思えますけども、全体として調和の取れるように、今後とも整備していただくように働きかけをしてまいりたいというふうを考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

景観形成のポイントとなる場所の認識ができているという回答でよろしいですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

失礼しました。ポイントとなる場所は、できております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

その場所の地主の方に協力いただくために、何度も何度もお話やご相談をされたことと思いますが、地主の方にとっても、景観形成や利便性を向上させ、まちづくりの基盤整備を進めたい市役所にとっても、お互いがウィン・ウィンの状況で雁木が設置できることを望んでおります。雁木設置から現在に至るまで、担当各位の努力も何回も伺っております。継続して対応のほう、ご努力のほう、よろしく願いいたします。

10番目の駅北の空き家についてでございます。

先ほどの清水座長のお話にありましてとおり良質な民間の投資がかぶさることが、糸魚川の復興となるとコメントを紹介しましたが、リノベーションのまちづくりの考え方を取り入れながら、民間の良質な投資をかぶせる。そのために糸魚川市としてどのような、今後努力をされていくかお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

清水さんのほうからは、リノベーションまちづくりに関しまして、多くのご指導を頂戴しておりますところでございます。

このリノベーションというのは、都会でなければできないとか本当に山の中の古民家でなければできないというものではなくて、糸魚川市で十分取り組める将来のある施策だというふうに私は捉えておりまして、その中でも清水さんのおっしゃるには、やはり一番大事なのは人材なんだよということは、常々言っておられます。そこに重点を置きまして、駅北復興まちづくり市民会議ですとか、駅北まちづくり会議というところで意見を重ねて、議論を重ねまして、多くのご意見を頂きまして、まとめ上げてまいりましたのが、糸魚川市の駅北まちづくり戦略でございます。この戦略の実現に向けまして、市役所はその活動に確実に寄り添うことを継続すること、また、その後ろとして立地適正化計画を含めた市の施策ということを着実に前進させるということが、市役所の努めていかなきゃいけないことだというふうに認識しております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

空き家等の活用を踏まえた居住誘導が中心市街地の活性化につながり、ひいては地域の持続と自立につながる立地適正化計画の大事な柱であると考えます。空き家を活用したいニーズは、若者に限定されたものでは考えますし、まずは、空き家活用の先進事例、空き家等を活用したモデルハウス等を少しでも造り、長期的な定住につなげていただきたい、このように考えますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

お答えします。

市が持っている立地適正化の誘導区域になりますが、市の物件でも古民家があります。そういったものを使って、今年の8月ですけどもリノベーションラボという形で少人数でありますけども、集まっていただきました。やっぱり各地でリノベーションをやられてられる方の事例を見ていただきながら、こういう形だったらできるんだというところを見ていただいて、その魅力をしっかり見ていただく。今回、第1回目だったんですが、モデル的に幾つものというのは、なかなか難しいと思うんですが、今持っている市の財産をうまくそういったものを生かす中で、今後もこういったイベントはチャレンジしていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

どんどんチャレンジしていただき、1つでも成果につながっていただければなというふうに思っております。このモデルハウス等の提案なんかも、民間側から投げかけがあろうかと思えます。いろんな可能性を示唆しながら取り組んでいただきたい、支援していただきたい、このように思います。

11番の海望公園の利活用について、再度伺いたいと思えます。

今後、海望公園と隣接する駐車場の整備とともに、夕日の展望台の活用を見据え、横断する地下道の修繕を予定していると伺っておりますが、今後、国道8号線から観光客を流入するための、促すための公共投資の見込みはあるか、伺いたいと思えます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

斉藤建設課長。〔建設課長 斉藤 浩君登壇〕

○建設課長（斉藤 浩君）

海望公園につきましては、まずは市民の皆様が休息、鑑賞、散歩、運動など、いつでも容易にお使いいただけるように、また、災害を防止するための緩衝地帯の機能を発揮できるよう、今後についても維持管理を行ってまいります。

また、安全・安心の面からしますと今年度、老朽化したあずまやを一部補修いたしました。また、過去においてトイレでぼや騒ぎあったこと、また、地区から要望もあることから、現在、監視カメラを設置する準備をしております。今後になりますが、地下道を含めた展望施設につきましては、駅周辺地区の施設をつなぐ回遊の拠点となることから、改修計画などを検討し、町なかの魅力アップとにぎわい創出につなげてまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

今ご回答いただきましたが、海を活用したまちづくりのために公共投資の可能性があるというふうな捉え方でよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

斉藤建設課長。〔建設課長 斉藤 浩君登壇〕

○建設課長（斉藤 浩君）

現時点で何年度というわけにはいきませんが、計画については今考えておるところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

再度、ご答弁ありがとうございました。

最後の質問になります。4年間で駅北まちづくりの計画と立地適正化計画は、どの程度進捗を目安としているかという質問でございます。

都市計画運用指針では、立地適正化計画について1つの将来像として、おおむね20年の都市の姿を展望する基準年は平成27年とあり、市長の任期を踏まえるとちょうど10年目の節目になるうかと思えます。任期終了までにここまで完了するという明確なビジョンをお聞かせいただきたいと思えます。

丁寧な話し合いによる計画策定も大切ですが、この先は強いリーダーシップによる遂行が、必要であると考えます。複雑な計画は周りが読み解くよりも、糸魚川市のリーダーによる分かりやすい一言を頂戴したいと思えますが、米田市長、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

基本的にいろんな計画、全てやはり行政の今進めておるまちづくりの計画につきましては、いかにその人材が重要かというのを非常に私としてはポイントを置きたいと思っております。そういった地域リーダーなり、まちづくりリーダーというのは、どうあるべきか、それを協議しながら、またつくり上げていくことが、まちづくりなり成功の一つだろうと思っておりますので、まずは市民、または外部人材でもいいかと思うわけではありますが、そういったところを中心に今の計画づくり、まちづくりに基本にしていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

東野議員。

○10番（東野恭行君）

ありがとうございました。

以上で、私の一般質問を終わります。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、東野議員の質問が終わりました。

ここで暫時休憩いたします。再開を11時25分といたします。

〈午前11時18分 休憩〉

〈午前11時25分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、古畑浩一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。〔17番 古畑浩一君登壇〕